平成１８年７月７日
消費･安全局表示･規格課

食品表示１１０番の実績について

１．食品表示１１０番への６月(６月１日～６月３０日)の問い合わせは、１，４２１件であった。

２．問合せのあった１，４２１件の内訳は以下のとおり。

区分 / 品目別	18年6月分				(参考)			
			18年度累計		17年度計		16年度計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
生鮮食品	307	22%	768	19%	2,844	18%	2,854	19%
食肉	86	6%	178	4%	677	4%	615	4%
青果物	104	7%	294	7%	1,042	6%	1,023	7%
水産物	80	6%	211	5%	905	6%	941	6%
生鮮全般	37	3%	85	2%	220	1%	275	2%
加工食品	743	52%	2,173	53%	7,982	49%	6,542	43%
食肉加工品	49	3%	115	3%	422	3%	196	1%
米麦	262	18%	798	20%	3,982	25%	4,472	29%
精米	220	15%	676	17%	3,495	22%	4,003	26%
その他	109	8%	334	8%	1,348	8%	1,294	9%
合計	1,421		4,073		16,156		15,162	

（注） ラウンドの関係で率(%)の計は一致しない場合がある。
(参考) 開設(平成14年2月15日)以降の問合せ件数：47，340件。

３．寄せられた意見の例

- 米国産牛肉輸入再開に際し、牛肉由来成分を使用している全ての食品について、原料原産地表示を義務付けるべき。
- ペットボトル飲料を含め原料原産地表示対象品目の拡大に努めるべき。
- 本年１０月からの加工食品の原料原産地表示義務の拡大（２０食品群）に併せ、中間流通業者を含め製造業者等に対して周知徹底を図るべき。
- カット野菜について、内容量の表記を義務化すべき。